

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精工技研

コード番号 6834 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上野 昌利

問合せ先責任者(役職名) 管理部長

(氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,467	84.9	91	—	104	1,929.0	△25	—
25年3月期第2四半期	2,416	△0.9	△18	—	5	—	△54	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 459百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	△2.78	—
25年3月期第2四半期	△5.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	23,247	19,993	85.9	2,185.59
25年3月期	20,826	19,576	93.9	2,140.34

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,976百万円 25年3月期 19,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,000	100.5	250	—	330	—	50	—	5.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,333,654 株	25年3月期	9,333,654 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	193,769 株	25年3月期	193,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,139,913 株	25年3月期2Q	9,139,983 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の財政懸念や欧州債務問題の長期化、中国経済の先行き不安等のリスクを抱えながらも、総じて回復基調で推移しました。わが国経済は、金融緩和や積極的な公共投資による景気回復を目指す政府施策や円高の是正を背景に、企業業績や個人消費が上向いています。2020年の東京オリンピック開催が決定し、景気の先行きにも明るい兆しがあるものの、消費税率の引き上げや海外景気の減速が懸念材料となっています。

当社グループが関わるエレクトロニクス関連や情報通信関連、電子部品関連の市場においては、スマートフォンやタブレット端末等のモバイル関連機器の普及拡大が続き、これらに用いられる部品の需要が増加しています。また、インターネットを介して流通するデータトラフィック量も急速に増加しており、これに対応するため、携帯電話用基地局や光通信回線網の増強が積極的に進められています。自動車向けの市場においては、ハイブリッドカーの販売が好調を維持していることから、車載センサー等の需要が堅調に増加することとなりました。

こうした経営環境の中で当社グループは、精機関連と光製品関連の両セグメントの事業拡大に努めました。精機関連では、精密金型技術と精密加工技術をベースに、各種金型や薄肉成形品、高耐熱レンズ等を製造、販売しています。本年5月には、不二電子工業株式会社を連結子会社に加え、精機関連の成形品に係る事業領域を自動車関連市場へと拡大しました。一方、光製品関連では、光通信網の敷設に用いられるコネクタ等の各種部品や、その部品を製造するための装置をはじめ、光ファイバの特性を活用した電波の伝送装置や電界を測るセンサー等を製造、販売しており、既存顧客の維持と新規顧客の開拓に取り組みました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,467,021千円（前年同四半期比84.9%増）となりました。これは不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことに加え、光通信用部品の需要増加に伴い光コネクタ等の販売が伸びたことに因ります。損益面では、売上高の増加を背景に営業利益が91,622千円（前年同四半期は18,032千円の営業損失）となり、黒字を確保することができました。また経常利益は、為替差益41,473千円、持分法による投資損失52,114千円等を計上した結果、104,617千円（前年同四半期比1,929.0%増）となりました。法人税等を控除した後の四半期純損益は、25,445千円の四半期純損失（前年同四半期は54,741千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 精機関連

光ディスク成形メーカー各社の新規設備投資は停滞しており、当第2四半期連結累計期間における光ディスク成形用金型関連の販売は低調に推移することとなりました。また、スマートフォンや携帯電話に搭載されるカメラ向けの高耐熱レンズは、顧客の機種変更に伴う仕様の見直しにより受注が大きく減少しました。一方、本年5月にグループに加えた不二電子工業株式会社の自動車用センサーやスマートフォン向けの電子部品等は好調に売上を伸ばすことができました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の精機関連の売上高は2,331,642千円（前年同四半期比263.9%増）となりました。営業損益につきましては、高耐熱レンズの売上減少が影響し、19,001千円の営業損失（前年同四半期は49,190千円の営業損失）となりました。

② 光製品関連

光回線を流れる情報データの増加に伴い、光通信用部品の所要量は世界的な規模で拡大しています。並行して、これらの製造過程で用いられる検査装置等の需要も増加基調にあります。当第2四半期連結累計期間においては、旺盛な需要を受注につなげることができ、中国の製造子会社ではフル生産体制が続きました。しかし一方で、規格品が多い光通信用部品はコモディティ化が著しく、価格の下落が恒常化しています。こうした中、材料調達コストの削減や生産性の向上、製品設計や仕様の見直しによる原価低減に取り組みました。また、狭いスペースにおいても多数の配線を実現する多芯コネクタ等の製品開発に注力しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は2,135,378千円（前年同四半期比20.3%増）となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は110,624千円（前年同四半期比255.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は23,247,118千円となり、前連結会計年度末から2,420,551千円増加いたしました。流動資産は12,830,165千円となり、前連結会計年度末から2,037,268千円減少いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社の株式取得等により、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は10,416,952千円となり、前連結会計年度末から4,457,820千円増加いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことにより、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれん等の固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,253,652千円となり、前連結会計年度末から2,003,772千円増加いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことにより、買掛金や退職給付引当金等が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は19,993,465千円となり、前連結会計年度末から416,779千円増加いたしました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,914,807千円となり、前連結会計年度末から284,597千円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は242,374千円増加いたしました（前年同四半期は123,654千円の減少）。営業活動による資金増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益105,227千円、仕入債務の増加額110,328千円、減価償却費264,702千円等であり、資金減少の主な要因は、売上債権の増加額353,655千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は588,655千円減少いたしました（前年同四半期は178,250千円の減少）。投資活動による資金増加の主な要因は定期預金の預入れと払戻しの差額3,730,725千円等であり、資金減少の主な要因は、子会社株式の取得による支出4,151,888千円、有形固定資産の取得による支出194,098千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は53,392千円減少いたしました(前年同四半期は増減なし)。財務活動による資金減少の主な要因は、配当金の支払額41,545千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績予想につきましては、現在までの業績を踏まえ、平成25年5月10日に公表いたしました第2四半期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成25年11月8日)公表いたしました「第2四半期連結業績予想との差異及び個別決算における前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。なお、平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,580,693	8,608,284
受取手形及び売掛金	1,121,795	2,297,586
商品及び製品	253,344	281,681
仕掛品	255,659	434,431
原材料及び貯蔵品	456,952	658,093
未収還付法人税等	11,071	17,604
その他	193,003	538,017
貸倒引当金	△5,085	△5,534
流動資産合計	14,867,434	12,830,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,017,659	5,108,588
減価償却累計額	△2,369,171	△3,267,258
建物及び構築物(純額)	1,648,488	1,841,330
機械装置及び運搬具	2,109,670	4,405,453
減価償却累計額	△1,875,514	△3,700,217
機械装置及び運搬具(純額)	234,156	705,236
土地	2,035,325	2,246,539
建設仮勘定	206,824	432,953
その他	1,685,348	4,329,429
減価償却累計額	△1,459,702	△3,888,318
その他(純額)	225,645	441,110
有形固定資産合計	4,350,440	5,667,170
無形固定資産		
のれん	—	2,429,653
顧客関連資産	—	649,878
その他	56,605	74,105
無形固定資産合計	56,605	3,153,637
投資その他の資産		
投資有価証券	550,480	555,407
投資不動産	932,756	940,819
その他	68,848	99,917
投資その他の資産合計	1,552,085	1,596,144
固定資産合計	5,959,131	10,416,952
資産合計	20,826,566	23,247,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	189,650	1,198,062
未払法人税等	24,109	215,544
賞与引当金	—	66,743
その他	380,582	660,672
流動負債合計	594,341	2,141,023
固定負債		
退職給付引当金	411,133	659,846
長期未払金	145,370	145,370
長期預り保証金	77,098	68,532
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	2,899	157,687
その他	—	62,155
固定負債合計	655,538	1,112,628
負債合計	1,249,880	3,253,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,571,419	10,571,419
利益剰余金	2,795,903	2,724,758
自己株式	△427,246	△427,279
株主資本合計	19,731,759	19,660,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	927	1,804
為替換算調整勘定	△170,079	313,621
その他の包括利益累計額合計	△169,151	315,425
新株予約権	14,078	15,936
少数株主持分	—	1,522
純資産合計	19,576,686	19,993,465
負債純資産合計	20,826,566	23,247,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,416,399	4,467,021
売上原価	1,538,191	3,194,019
売上総利益	878,208	1,273,002
販売費及び一般管理費	896,241	1,181,379
営業利益又は営業損失(△)	△18,032	91,622
営業外収益		
受取利息	15,717	10,481
受取配当金	172	204
業務受託料	21,564	—
投資不動産賃貸料	19,951	24,716
為替差益	—	41,473
その他	4,239	8,201
営業外収益合計	61,646	85,077
営業外費用		
不動産賃貸原価	6,976	8,148
支払手数料	15,844	—
持分法による投資損失	—	52,114
為替差損	14,798	—
その他	838	11,819
営業外費用合計	38,457	72,082
経常利益	5,156	104,617
特別利益		
固定資産売却益	7	751
特別利益合計	7	751
特別損失		
固定資産売却損	—	141
固定資産除却損	4,493	—
特別損失合計	4,493	141
税金等調整前四半期純利益	670	105,227
法人税、住民税及び事業税	54,195	142,401
法人税等調整額	1,217	△12,114
法人税等合計	55,412	130,286
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,741	△25,059
少数株主利益	—	385
四半期純損失(△)	△54,741	△25,445

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,741	△25,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,557	876
為替換算調整勘定	28,103	440,275
持分法適用会社に対する持分相当額	—	43,425
その他の包括利益合計	25,546	484,576
四半期包括利益	△29,195	459,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,195	459,132
少数株主に係る四半期包括利益	—	385

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	670	105,227
減価償却費	129,771	264,702
のれん償却額	—	83,781
受取利息及び受取配当金	△15,717	△10,686
持分法による投資損益(△は益)	—	52,114
受取賃貸料	△19,951	△24,716
固定資産売却損益(△は益)	△7	△610
固定資産除却損	4,493	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,853	△1,102
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△22,653
退職給付引当金の増減額(△は減少)	22,573	27,797
為替差損益(△は益)	3,065	△42,913
売上債権の増減額(△は増加)	△144,002	△353,655
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,109	32,502
その他の資産の増減額(△は増加)	58,351	65,047
仕入債務の増減額(△は減少)	△134,148	110,328
未払金の増減額(△は減少)	31,803	△6,498
その他の負債の増減額(△は減少)	△24,008	△31,441
小計	△79,145	247,222
利息及び配当金の受取額	16,718	18,875
法人税等の還付額	6,400	3,733
法人税等の支払額	△67,627	△27,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,654	242,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,117,371	△4,660,747
定期預金の払戻による収入	7,257,936	8,391,472
有形固定資産の取得による支出	△88,505	△194,098
有形固定資産の売却による収入	7	1,242
無形固定資産の取得による支出	△6,223	△1,038
投資有価証券の取得による支出	△248,458	△365
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△4,151,888
投資不動産の賃貸による収入	19,951	24,716
差入保証金の差入による支出	△110	—
事業譲渡による収入	5,965	4,192
その他の収入	30	—
その他の支出	△1,473	△2,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,250	△588,655

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△41,545
リース債務の返済による支出	—	△11,813
自己株式の取得による支出	—	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△53,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,245	115,075
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△295,660	△284,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,459,378	2,199,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,163,718	1,914,807

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	640,676	1,775,722	2,416,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	640,676	1,775,722	2,416,399
セグメント利益又は損失(△)	△49,190	31,157	△18,032

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,331,642	2,135,378	4,467,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,331,642	2,135,378	4,467,021
セグメント利益又は損失(△)	△19,001	110,624	91,622

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「精機関連」のセグメント資産が、6,425,612千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「精機関連」セグメントにおいて、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、2,429,653千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。